

NPO法人ファザーリング・ジャパン関西 2022年度事業計画

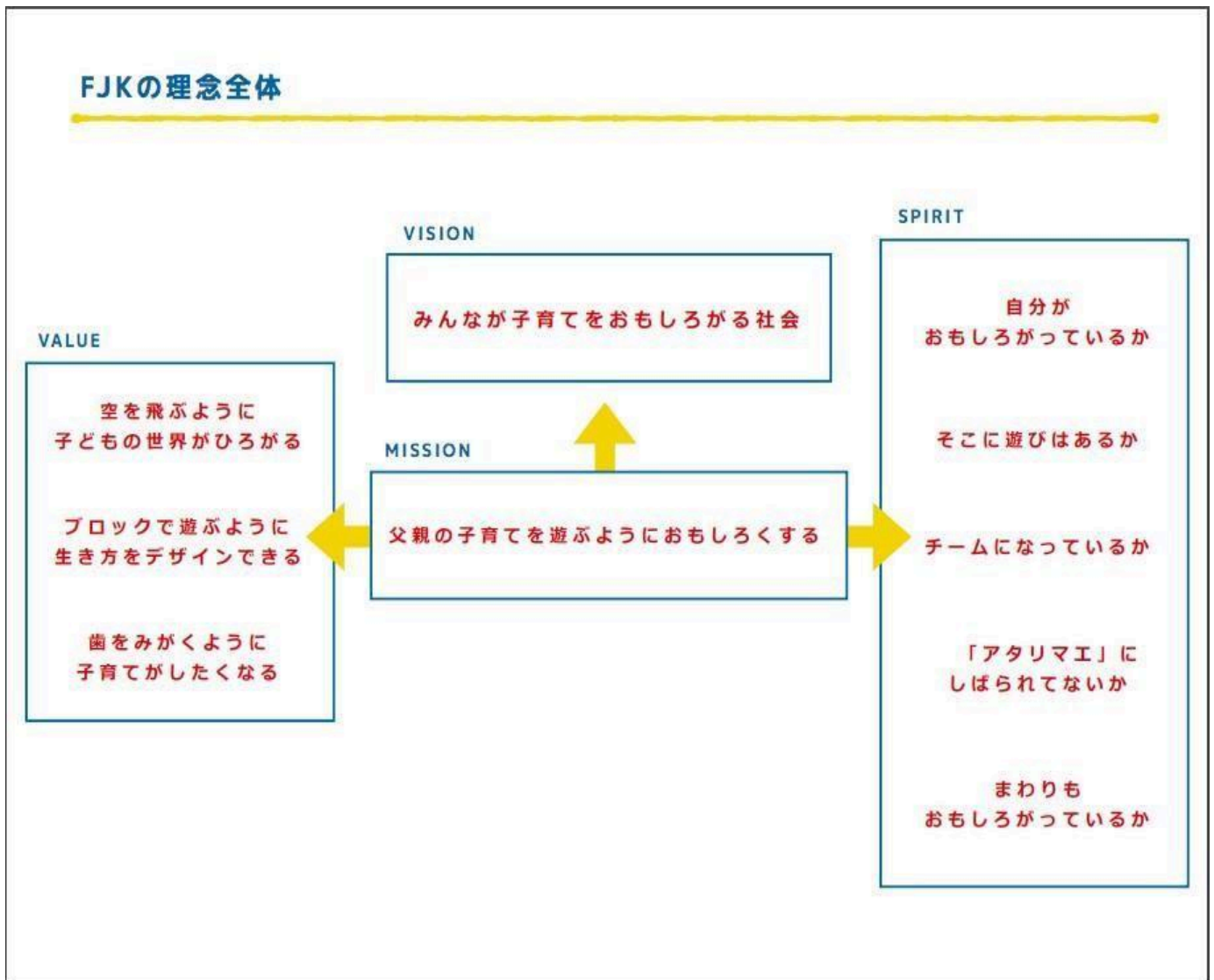
(2022年4月1日～2023年3月31日)

1. ビジョン(VISION)・ミッション(MISSION)・行動指針(SPRIT)

平成30年度に行ったリブランディングにより、NPO法人ファザーリング・ジャパン関西(以下、FJKとする)の団体として目指すビジョン等については、以下のものとする。

Vision みんなが子育てをおもしろがる社会 の実現。

Mission 父親の子育てを遊ぶようにおもしろくする。



令和4年度 キーワード

「FJKで、パパ友増やそうぜ！」

FJKの諸々のイベントや事業を通して、パパ友を増やす。
つながりを広げ、深め、お互いを知り、影響し合う。
共に学び、共に成長していく。

2. 事業計画、アクションプラン

「FJKで、パパ友増やそうぜ！」

「笑ろてるパパがええやん」のキーフレーズの下、
「全ては会員のために」を基に活動を行っていく。

- ・会員は何を望んでいるのか？
- ・会員がFJKに求める価値は何か？
- ・何の為に、FJKに入会したのか？

昨年度に引き続き、これらの問いに答えていく。

その上で本年度のキーワード「パパ友を増やそうぜ」を基に、活動をより対外的にも広げていく

FJKミッションである『父親の子育てを遊ぶようにおもしろくする』の基、
昨年度2021年度は、従来の自治体・企業からの子育て支援等に係る事業を縮小し、
「全ては会員のために」を前面に出した会員向け事業を展開してきました。

結果として、自主事業として、会員さん向け、並びに会員さん企画、FJK勉強等オンラインを中心に66回開催。参加者
総数974名(会員さん総数846名 未会員総数128名)

また、その中でも会員さんの多様なニーズを知るきっかけとなりました。

3つのニーズ。

①安心、安全な居場所としてのFJK

「父親同士のつながりを増やし、深め、育んでいく」

②父親を楽しむ場としてのFJK

「多様な父親のつながりを通して、影響し合い、楽しみを広げていく」

③父親としての自己実現、成長と社会貢献が出来る場としてのFJK

父親軸で社会を観よう！

「行政向け、企業向け事業において、会員の活動の場を増やし、地域、行政、企業に斜めの串
をさしていく」

これらのニーズに応える形として、FJK活動並びに事業活動を行っていく。

我々の成果指標(上記3つのニーズに対する成果指標)

- ・ 売上 ⇒ 会員数
- ・ 商品 ⇒ イベントや事業
- ・ 利益 ⇒ 会員満足度

①安心、安全な居場所としてのFJK

「父親同士のつながりを増やし、深め、育んでいく」

- ・ 売上 ⇒ 会員数

→ 会員数を令和7年度末までに、200人へ増やす。

会員数113名 → 本年度の目標数 125名 パパ友を増やす！

②父親を楽しむ場としてのFJK

「多様な父親のつながりを通して、影響し合い、楽しみを拡げていく」

- ・ 商品 ⇒ イベントや事業

→ 会員からの提案に応じていく。

令和3年66本実施 総数974名の参加者数 → 令和4年80本以上 参加者総数1000名以上

パパ友を増やす！

③父親としての自己実現、成長と社会貢献が出来る場としてのFJK

父親軸で社会を觀よう！

「行政向け、企業向け事業において、会員の活動の場を増やし、地域、行政、企業に斜めの串をさしていく」

- ・ 利益 ⇒ 会員満足度

→ 会員複数名で参加が出来る企業向け、行政向け事業の提案、受託を増やす

R3年度は、16本/25本 → 20本以上へ

また、イベント数や参加者数、イベント参加満足度にこだわる。

会費の未納0の実現。

⇒ 会員皆さんのニーズを知り、掘り下げ、創造し、つくっていく。
これからのFJKの活動につなげていく。

(1) 自主イベント

① 会員の「やりたい」を実現できる場を増やす。

「パパと子のあそぶ機会」「パパ同士が楽しむ、学び合う場」を創っていく。

多様な関係性を紡ぎ、既存の枠組みを超えたコロナ禍だからこそその新たな形を創造していく。

会員からの提案に、積極的に応えていく。

事業主体は、会員、もしくは、FJK事務局側はフォローを行っていく。

- ・会員向けイベントの拡充、
- ・会員と未会員の双方向向けに実施するFJK PlaceやFJK的読書会等の実施。
 - ・ **FJK的 オンラインイベント**
会員からの提案にて、オンラインにて開催を行っていく。
「会員向け」
 - ・FJK的人狼ゲーム、FJK的アナログゲーム、家族アルバム「かぞく日和」、
パパの抱負発表会、他 FJK的座談会等。
 - 「会員、未会員向け」
 - ・自主学習会、FJK的オンライン読書会、FJK Place の拡充
 - ・ **他団体とのコラボ事業**
会員が他に所属されている団体や、つながりある他団体との合同イベントをとおして、つながりを広げていく。
 - ・ **父子キャンプ**
会員同士の交流を中心にパパ同士、父子でキャンプを行う。
日帰り、宿泊も含む。
前回企画したロケット発射プロジェクトをはじめ。地引網みやFJK的運動会とのコラボでの開催も今期は検討していく。
- ・ **その他、イベントの開催**
公開型勉強会やシンポジウムの開催(コロナ禍の社会情勢と折り合いをつけながら)
2022年度は、リアル開催を目論む。

② 会員と地域を「つなげる」機会を増やす

地域で活動したい会員と、その地域の行政とのつながりをつくる。

会員の住む地域での市民委員や公募、推薦型の市民委員を担う機会を。自薦、他薦含む。

会員が住む地域でのおやじの会やPTA活動への参画を後押し、フォローしていく。

- ・地域で活動したい会員の募集 各行政、担当課とつなげる。(既存のつながりの再活用)
- ・各市町村の様々な委員を担う人材の輩出、つながりをつくっていく。
イキメン実践PJとして、FJKの関係性を駆使してつながり育んでもらうように働きかける。
- ・おやじの会やPTA活動への後押しを積極的に担っていく。
MLを通して、おやじの会やPTA活動の楽しさを発信していく。
PTAやおやじの会は特権だということを、伝えていく。

(2) 各種事業(自治体・企業からの講座等の受託)

- 従来からの継続事業。自治体・企業の要望に応じ講座・イベントを実施。
- ・その地域や企業と会員がつながることを前提に講師選定を含め進めていく。
 - ・講師費用に関して、既存の枠組みを中心に考えていく。

(3) プロポーザル事業(自治体公募)

今期に関しては、兵庫県の男性の家事・育児参画事業を受託
その他、会員さんからのご提案があったり、会員の皆さんのお役に立つ場合、都度調整をおこなっている。

(4) 広報活動

- ・メディア戦略に注力する。
HPを通して、メディアへの働きかけサイトの構築。
- ・第三者に対して、FJKの活動、組織を伝え、広く周知を図り、組織の信用力を向上させる。
 - ・ホームページ(公式)の充実 ※会員情報の見直し
 - ・チラシ、リーフレットの製作、配布(公式)
 - ・Facebook FJK関西(公式)
 - ・Facebook ネットワーク(非公式)
 - ・メールマガジン(非公式)

(5) 資金活動

- 自主事業の継続運営に向け、資金調達部門の強化を図る。
- ・会員数を増やす。 会員の皆さんの口コミ HPの発信力強化
 - ・広報活動等における寄付募集の徹底

3. 組織体制

正会員数10名、賛助会員数92名、会員数113名(2022. 3月末現在)

総会後

理事長 1 桜井 一字 副代表 2名 島津聖 阿川勇太

理事 2 浅山貴宏 堀恭平

監事 1 山崎 清治